令和8年11月号

ノア Smile

春日部セントノア病院

〒344-0001
埼玉県春日部市不動院野1112-1
TEL048-760-1200
FAX048-760-1201
https://www.saintnoah-kasukabe.jp



～目次～

●病院短信
●日常の一コマ
●いきいき看護・介護
●薬剤科だより
●誕生日会
●スタッフ紹介

１１月の予定



◇誕生日会
１病棟　１１月１３日（金）
２病棟　１１月１０日（火）
３病棟　１１月　９日（月）
各病棟デイルーム　１４：００～

誕生日会





スターティンググリットでは鉄の咆哮を轟かせるモンスターマシンと歴戦のドライバー達が今か今かとその時を待っております。さあスタートフラッグが振られました、テーブルの端ギリギリで車を止める『カーストップチャレンジ』セントノア GP の開幕であります！







お～っと早速なかなか良い記録が出た模様です。このブルーの車体はあの P34、赤い車体はセントノアの不死鳥が駆る伝説の F312T でしょうか？それにしても何という豪胆さ、限界を責めつつも笑っております。サーキットはまるでお祭り騒ぎであります！



お～っと第一コーナーでクラッシュの模様です。車体、いやシケインは大丈夫なのか？



結果は参加ドライバー全員無事フィニッシュ！それぞれが賞品を手に歓喜の表彰台となった模様であります。

スタッフ紹介

１病棟看護師

血液型：０型
そして、犬たちが繋いでくれたお友達があちこちにいることが私の特技(？)です

こんにちは！
息子も社会人になり、長かった子育てもひと段落。今は、「ちまき＆あんにん」に振り回されながら楽しく暮らしています♡「ぶる太＆あられ」（お空組）も大切な家族で、今も思い出は宝物です。
休日は犬たちとお出かけするのが楽しみで、気づけば予定はいつも「犬中心」。仕事も頑張りながら、愛犬たちに癒される毎日です。



病院短信

2病棟　看護師長

秋も深まり、朝晩の冷え込みに季節の移り変わりを感じる頃となりました。

当院では患者さんに季節を感じていただき、懐かしい思い出とともに笑顔あふれるひと時を過ごしていただきたいとの思いから、今年も秋まつりを企画しておりました。

ご家族の皆様の中にも、楽しみにしてくださっていた方が多くいらっしゃったことと思います。

秋まつり開催に向けて、天候を確認しながら直前まで検討しておりましたが、インフルエンザの流行に加え、発熱される患者さんや職員も多くみられていたことから、患者さんとご家族の皆様、そして職員の健康と安全を第一に考え、やむを得ず中止とさせていただくこととなりました。

秋まつりを楽しみにされていた患者さんやご家族の皆様の気持ちを思うと、私たち職員も大変残念で、心苦しい思いでおります。

お祭りのにぎやかな雰囲気や、昔懐かしい屋台の思い出などを通して、患者さんの笑顔を見られることを願っていたからこそ、今回の決定はとてもつらいものとなりました。

しかし、何よりも大切なのは、患者さんが安心して健やかに過ごされることだと、私たちは思っております。

今回の秋まつりは開催できませんでしたが、これからも日々の暮らしの中で季節を感じ、心が和むような時間をお届けできるよう、職員一同努めてまいります。

楽しみにしてくださっていた皆様には、どうかご理解いただけますと幸いです。

これから寒さが増す季節となりますので、ご家族の皆様もお身体を大切にお過ごしください。





薬剤科だより

薬剤師



今シーズンは例年より早くインフルエンザの流行が始まりました。当院では、10 月 1 日から患者さんと職員のインフルエンザワクチン接種を済ませました。

ワクチンの効果は接種後、約 2 週間で現れ始め、効果のピークは約 1～2 ヵ月後で、その後徐々に減少し持続期間は 5～6 ヵ月とされています。

新型コロナワクチン、肺炎球菌ワクチン、帯状疱疹ワクチンとの接種間隔に制限はありません。また、医師が必要と認めた場合は同時接種も可能です。

高齢者向けで抗原量が 4 倍の『高用量インフルエンザワクチン』は、2026 年秋から定期接種化される予定でしたが、製造工程確立の遅れにより供給が間に合わず、今シーズンは見送られました。来シーズンに期待です。

2026 年 8 月、米国では承認された『m - RNA インフルエンザワクチン』は、日本では未承認で接種できません。

現在、日本で接種できるインフルエンザワクチンは従来型の標準用量ワクチンと、2～19 歳未満が対象の『フルミスト点鼻液』になります。

日常の一コマ

今月は 3 病棟の恭子さん（88 歳）をご紹介します。

恭子さんは東京都板橋区に 4 人姉妹の長女として生まれ、高校卒業後は生命保険会社に就職し、定年する 60 歳までお勤めになりました。

恭子さんは歌うことが大好きで、コーラスをやったりカラオケに行ったりしていたそうです。ずっと東京の実家で暮らしていましたが、令和元年に転倒し肩を骨折し、その翌年より妹さん夫婦と春日部で同居することになりました。歩行状態が悪くなりリハビリに励んでいましたが、令和 3 年に再び転倒。左大腿骨骨折で入院中に認知症との診断を受けたそうです。しばらくデイサービスやショートステイを利用されていましたが、大声で叫んだり暴力行為が見られたりと、徐々に認知症状は悪化し、令和 7 年 1 月に当院へ入院することになりました。



入院当初の恭子さんは突然奇声を上げたり、靴を履かせようとしたら足蹴りしてきたりと、職員も少し注意しながら恭子さんのケアにあたっていました。特に入浴の時は大変で大騒ぎでした。

そんな恭子さんですが、先生がピアノを弾けば誰よりも大きな声で歌い、その歌声はソプラノ歌手のような美声でデイルーム中に響き渡っていました。今でもその美声は変わることなく、いつも元気な歌声を聴かせてくれます。



最近の恭子さんは介護抵抗も減り、職員に手が出ることもほとんどなくなりました。車イスへの移乗を手伝うと、満面の笑みで「わー、ありがとう！」と目を見て言ってくれます。大騒ぎだった入浴も、次の行動を見越して声をかけ、恭子さんの協力を得ながら介助することでスムーズな入浴が出来ています。カラオケに行っていた頃の話を聞くと、キラキラした目で「行こう！一緒に行こうね！」と誘ってくれます。

恭子さんのこの笑顔と美声がずっと続くよう、私達は恭子さんに寄り添い、恭子さんらしく安心して過ごしていただけるよう、これからも支えていきたいと思います。

3 病棟　介護福祉士

いきいき看護・介護

1 病棟　看護主任

11 月は日に日に気温が下がり、一日の気温差も激しく、急激な寒暖差を感じる場面が多くなってきます。寒暖差が生じると、正常な保湿機能を果たしてくれる酵素が皮膚細胞内から減少してしまい、乾燥や肌荒れを引き起こしてしまうため注意が必要です。スキンケアを怠っていると乾燥肌に悩まされてしまうかもしれません。そこで 11 月に意識したいスキンケアを紹介したいと思います。

①化粧水を使う時は、叩いたりせずに優しく浸透させるように使い、肌が手のひらに吸い付く感触を目安にしましょう。特に乾燥が気になる場合は、セラミドやヒアルロン酸といった保湿成分を含む化粧品を使用してみてください。ローションマスクなどをお手入れに取り入れてみるのも保湿が簡単に行えます。

②こまめな水分補給や、ビタミン・ミネラル・タンパク質を取り入れた食事も大切です。

③部屋が乾燥しないように加湿に努めます。湿度は 50 %から 60 %が肌には良いとされています。

11 月は乾燥や気温差により肌が乾燥しやすくなっています。特に老年期の患者さんは肌の表皮・真皮が薄くなり、外部からの刺激に敏感になっています。肌のお手入れをして、秋冬も乾燥から肌を守っていきましょう。

